

MITSUBISHI

三菱 全自動 風呂給湯 電気温水器

「時間帯別電灯」対応通電制御型／深夜電力通電制御型（8時間）

形名

SRT-3764F-BL

SRT-4664F-BL

据付工事説明書

販売店・工事店さま用



この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前にこの「据付工事説明書」を必ずお読みください。




安全のために必ずお守りください







ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。

誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています

本文中に使用される図記号の意味は次の通りです。

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があります。
 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつきます。

	絶対に行わないでください。
	必ず指示に従い行ってください。
	必ずアース工事を行なってください。

 警告		 注意	
	必ずアース工事をする 工事に不備があると、故障や漏電のときに感電することがあります。		凍結防止対策を行う 凍結すると、本体が破損したり配管が破裂してやけどをすることがあります。
	ガス類や引火物の近くには据付けない 発火・火災になることがあります。		床面の防水・排水処理工事をする 処理しないと、水漏れが起きたとき、大きな被害につながる可能性があります。
	漏電遮断器の動作を確認する 故障のまま使用すると、感電することがあります。		脚をアンカーボルトで固定する 固定しないと地震のとき、本体が倒れてけがをすることがあります。
			2階以上に据付ける場合は、上部固定金具で本体を固定する 固定しないと地震のとき、本体が倒れてけがをすることがあります。

1.据付工事をされる方へ

- この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に「安全のために必ずお守りください」を必ずお読みください。
- 工事後は、取扱説明書とともに、お使いになるお客さまにお渡しください。
- この説明書に記載されていない方法で工事された場合、事故や故障が生じたときには責任を負いかねます。
- この製品はポンプを内蔵しているのでポンプ運転中は運転音 [45dB(A)以下] がします。音が気になる場所には据付けないでください。

【お願い】

- 工事中は手袋を着用してください。金属端面によるけがや高温部接触によるやけどなどを防止します。
- 運搬するときは前面カバーを上にしてください。前面カバーを下にして運搬すると突起物にあたって変形することがあります。また、高層住宅などへのつり上げ運搬は、つり上げ台を使用してください。
- 屋外で開梱した場合、強風によって製品が転倒することがあります。風が当たらない安定した場所に仮置きしてください。
- 製品の上面には上がらないでください。変形することがあります。
- 上水道直結の配管工事は、必ず当該水道局（水道事業管理者）の認定水道工事業者が行い、指定された配管材料を使用してください。
- 電気工事は、電気設備基準及び内線規程に基づいて必ず指定工事業者が行なってください。
- メンテナンスのための十分なスペースを確保してください。（前方 600mm以上、上方 200mm以上）
- 水は必ず水道法に定められた飲料水の水质基準に適合した水をご使用ください。

2.同梱付属品

次の部品が付属されています。

●リモコン 各1個

本体に同梱されています。



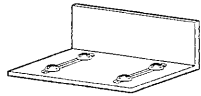
●脚固定金具 3個

脚に固定されています。



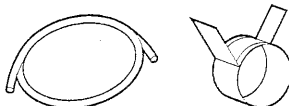
●上部振れ止め金具 1個

本体上部に固定されています。



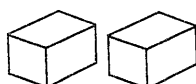
●ホースセット 1セット

取扱説明書、工事説明書と同梱されています。



●パテセット 1セット

本体に同梱されています。



3.純正別売部品

据付工事には、品質と耐久性を考え、三菱純正別売部品をお使いください。

必要な部品

No	部品名	個数	形名
1 (選択)	浴槽アダプター (直管おねじ)	1	GT-76
	浴槽アダプター (薄形めねじ)		GT-77
	浴槽アダプター (薄形直角おねじ)		GT-78
2 (選択)	リモコンケーブル (3m)	2	LM-503B
	リモコンケーブル (5m)		LM-505B
	リモコンケーブル (7m)		LM-507B
	リモコンケーブル (10m)		LM-510B
	リモコンケーブル (15m)		LM-515B
3	絶縁パイプ (1m)	1	GT-60B
4	絶縁パイプ (0.5m)	3	GT-61B
5	アース棒	1	GT-30B

●リモコンケーブルは、メイン・浴室リモコンの2本が必要となります。

条件により準備する部品

No	部品名	個数	形名
6	脚部カバー	1	GT-B460F
7	給湯加圧ポンプ	1	GT-81B
8	空気抜き弁	1	GT-20B

仕様確認のうえ現地調達可能部品

No	部品名	個数	形名
9	アンカーボルトM12 (50本入)	-	GZ-B1
10	アンカーボルトM10 (50本入)	-	GZ-B2

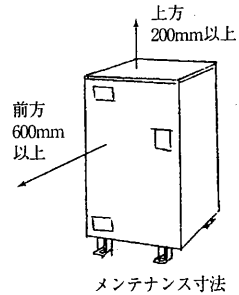
4.据付工事

据付場所

複数台数の接続はできません。

- 温水器と建物とのすき間寸法は各都市の火災予防条例に従ってください。
- 雨や雪が降ったとき、水たまりができて水につかるようなところには絶対に据付けないでください。
- 浴室など湿気の多いところには据付けないでください。
- 配管の放熱ロスを少なくするため、使用頻度の多い台所近くが最適です。
- 室内（機械室など）に据付ける場合は通気口を設け、密閉室にしないでください。
- 保守、点検に必要なスペースを確保してください。また、本体が故障したときや交換時の搬入、搬出ができるように考慮してください。

（この製品は「組込み形等電気機器の設置に関する自主基準」（平成8年8月21日 社団法人日本電機工業会）適合品のため、建築物の可燃物等からの離隔距離は、上下、左右、前後方向とも0mm以上です。ただし、故障時や交換時などのメンテナンススペースを確保するため、右図に示す寸法を確保してください。）



警告

ガス類や引火物の近くには据付けない

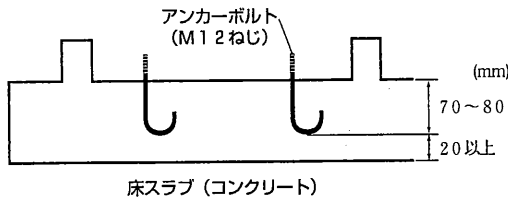
発火・火災になることがあります。

床面工事

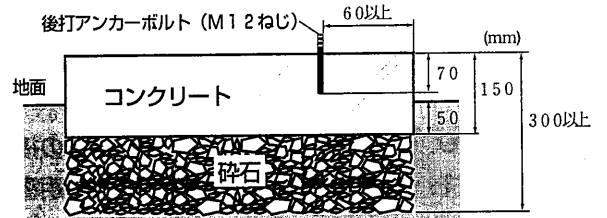
- 満水時の質量（460Lで約554kg、370Lで約452kg）に十分耐える基礎工事をしてください。

基礎工事

埋込みアンカーの場合



後打ちアンカーの場合



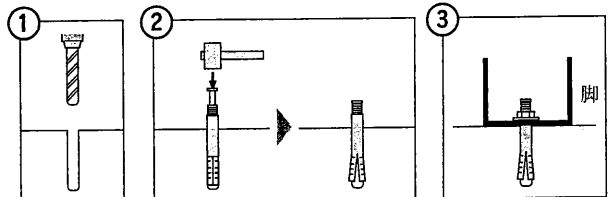
コンクリートの圧縮強度…… 1764×10^4 Pa (180kgf/cm²) 以上
 アンカーボルト引き抜き力……9800N (1000kgf) 以上

- 【お願い】
- ・ 交換時、アンカーボルトの位置が異なっているときは、新たにアンカーボルトを打ってください。
 - ・ 後打ちアンカーボルトの場合は下表のものをご使用ください。

品名：雄ねじ形メカニカルアンカーボルト
 寸法 (mm)

直径	全長	ねじの長さ	ドリル径	埋込み深さ
12	100	30	12.7	70

アンカーボルトの施工例



① ドリル等で予め穴をあけておきます。

② アンカーボルトを入れ、ハンマー等でピンを打ち込みます。
 (アンカーボルトは開脚密着します。)

③ ナットワッシャーをはめ、脚を固定します。

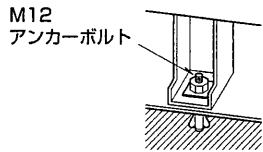
注意

床面の防水・排水処理工事をする

処理工事しないと水漏れが起きたとき、大きな被害につながる可能性があります。

脚固定方法

●脚は地震時の転倒防止のためアンカーボルトを使用して床面に固定します。

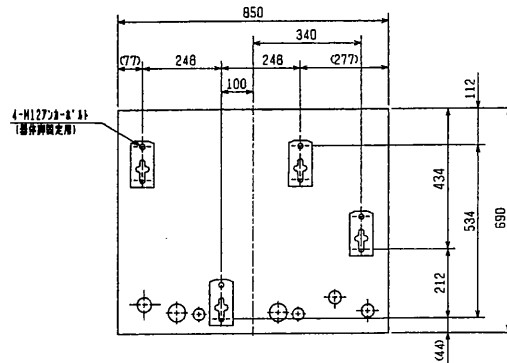


アンカーボルト固定後

⚠ 注意

脚をアンカーボルトで固定する

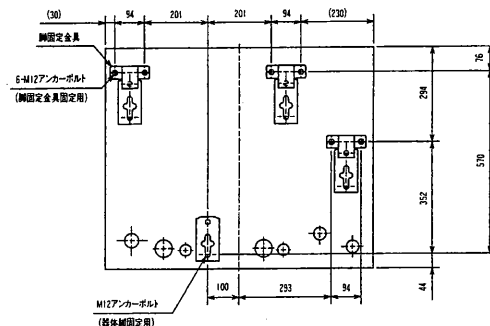
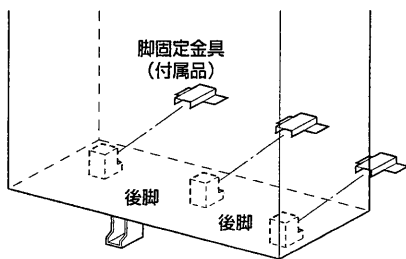
固定しないと地震のとき、
本体が倒れてけがをすることがあります。



底面（上面からの透視図）

後脚がアンカーボルトで固定できない場合

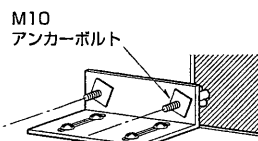
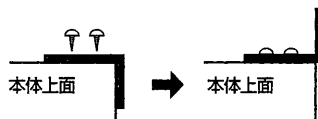
- ①付属の脚固定金具をM12アンカーボルトで下図の位置に固定します。
- ②本体を矢印の方向に移動させ、後脚を脚固定金具の爪にはめ込みます。
- ③前脚をアンカーボルトで固定します。



底面（上面からの透視図）

上部振れ止め工事

- ①本体上面に取付けてある上部振れ止め金具を外し上向きに取付けます。
- ②上部振れ止め金具を壁に固定します。

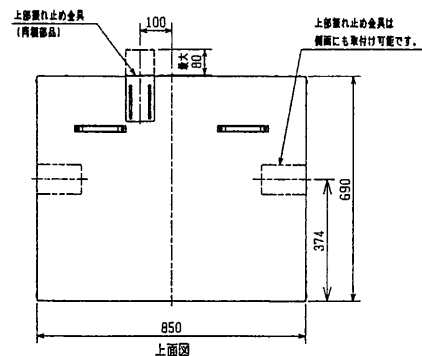


上部振れ止め後

⚠ 注意

2階以上に据付ける場合は、
上部振れ止め金具で本体を固定する

固定しないと地震のとき、
本体が倒れてけがをすることがあります。



品名：雄ねじ形メカニカルアンカーボルト 寸法 (mm)

直径	全長	ねじの長さ	ドリル径	埋込み深さ
10	60	20	10.5	40

【お願い】・引張荷重が4900N (500kgf) 以上に耐える壁、または棧を設けてください。

- ・アンカーボルトは引き抜き力が2450N (250kgf) 以上になる施工をしてください。
- ・後打ちアンカーボルトの場合は右表のものをご使用ください。

5. 配管工事

- 上水道に直結する場合は当該水道局の条例に基づき認定水道工業者が指定された配管材料を使って施工します。
- 水は、必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水を使用します。
 - ・塩分、石灰分、その他の不純物が使用水に多く含まれていたり、酸性水質の地域での使用はさけてください。
 - ・井戸水などで使用する場合は、水質検査を受けてください。
- 水源水圧は150kPa (15kgf/cm²) 以上、必要です。
- 温水器回りの配管部品は、保守、点検がしやすいように取付けます。
- 水栓は湯水混合栓を使用することをおすすめします。特に浴室ではサーモスタット付混合栓等の使用をおすすめします。
- 逃し弁、減圧弁は当社純正部品を使用しています。交換する場合は、三菱純正部品 (別売) をご使用ください。
- ドレンホースは必ず排水ホッパーに導いてください。万一の水漏れ被害を防ぎます。

- 【お願い】**
- 配管材料をろう付けした場合は、ろう付け箇所のフラックスや温水器ケースに飛散したフラックスを濡れた布できれいに拭き取ってください。
 - 配管材料はネジ切り・切断などの際、油やゴミが付着しますから加工後は必ず中性洗剤で洗浄してから配管してください。また、キズやバリが無いように面取りを行なってください。
 - 給湯配管は、管の膨張収縮がありますので、コンクリート壁やスラブを貫通するときはスリーブを使用し、埋設配管するときは管を固定しないでください。
 - 配管接合部のシール材は耐熱・耐食性のある材料を使用してください。

標準配管例

- ・ 温水器1台に対して接続できる浴槽は1台です。
- ・ 温水器からの2次給水はできません。

給水配管

- 耐熱・耐食性を考慮した配管材を使用します。(銅管をおすすめします。)
- タンクの掃除や点検など排水するときに必要な温水器専用止水栓を取付けてください。

給湯配管

- 耐熱・耐食性を考慮した配管材を使用します。(銅管をおすすめします。)
- 階下給湯する場合、給湯栓の高さは本体設置面から5m以内にしてください。

排水配管

- 排水時に高温 (最高時約90℃) のお湯が排水される場合がありますので、耐熱性のある材料を使用します。
- 排水管は、内径50mm以上、配管勾配1/200以上にします。
- 湯張り時や沸き上げ中に本体下部の排水口より少量の水が出ますので、必ず排水工事を行ってください。

温水器専用止水栓

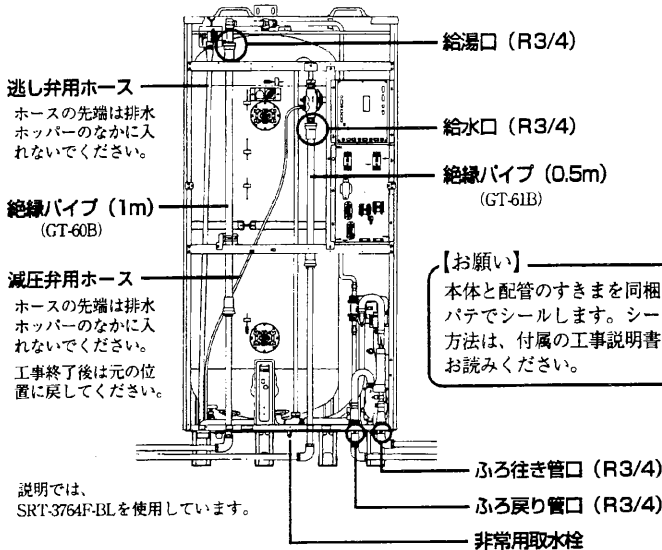
- 水漏れや故障のときなど水源を止めるために必要です。必ず温水器専用にしてください。

ふろ配管

- ふろ配管は、3/4" (20A) の配管を使用します。
- ふろ配管の長さは片側6m5曲りまでです。
- 階下へのふろ配管はできません。
- ふろ配管の接続は、ふろ行き配管と、戻り配管を間違えずに行います。
- ふろ行き管、戻り管は耐熱、耐食性及び絶縁を考慮した配管材を使用します。(銅管・HT管をおすすめします。)
- ふろ行き管と、戻り配管には絶縁パイプ (GT-61B、500mm以上) を取付けてください。
- ふろ行き管と戻り配管で曲げ回数や長さなどが同一条件となるように配管します。(水圧に差が生じると動作不良の原因になります。)
- 鳥居配管にすると、配管途中にエア溜まりを生じますので避けてください。

本体内部配管

絶縁パイプ以降の給水配管・給湯配管及び、ふろ配管は現地準備してください。



説明では、SRT-3764F-BLを使用しています。

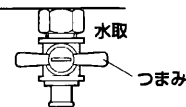
ゴムブッシュ

ゴムブッシュは本体と配管の絶縁をします。外さないでください。



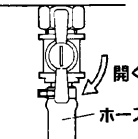
非常用取水栓使用図

通常時



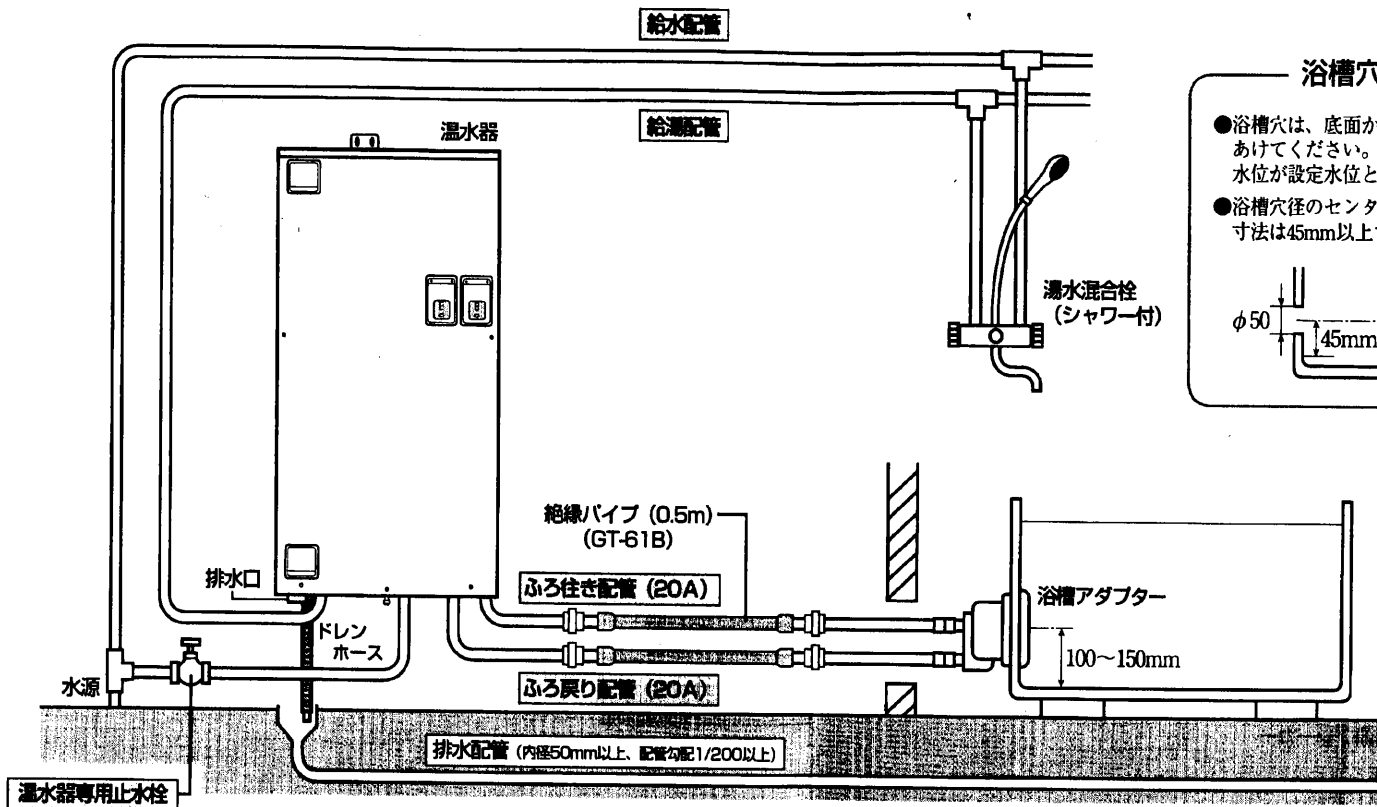
- 通常は、つまみを閉じておきます。開けておくとタンク内の水 (湯) が漏れ、故障や湯切れの原因になります。

非常取水時



- 非常取水時はホースを取付け、つまみを開きます。(熱湯が出る場合がありますので注意してください。)

工事をされる方へ
お客さまへ使用方法を具体的に説明してください。



浴槽穴あけ工事

- 浴槽穴は、底面から100~150mmの位置にあけてください。指定寸法以外では、浴槽水位が設定水位と異なる場合があります。
- 浴槽穴径のセンターからRじまいまでの寸法は45mm以上です。

湯張り可能範囲

浴槽アダプターの中心が、本体の設置面から上方に3.5m以内、下方に0.3m以内

説明のため脚は記載していません。

排水口付近拡大図

排水口

排水口空間50mm (HASS206による)

ドレンホース

ドレンホースは温水器底面より上にならないようにして排水ホッパーへ導いてください。また、ドレンホースが排水ホッパーから外れそうときは針金などで固定してください。

排水ホッパー

- 口径80mm以上の排水ホッパーや排水トラップを使用します。(ケース低面の排水口の穴はφ38mmです。)
- ホッパーと排水口の中心位置を確実に合わせます。(中心位置がずれていると、排水時に水が飛び散って床面を濡らすことがあります。)

排水口と排水ホッパーの位置がずれている場合

(1) 鋼管を使用する場合

ずれが大きい場合に適しています。

(2) ホースを使用する場合

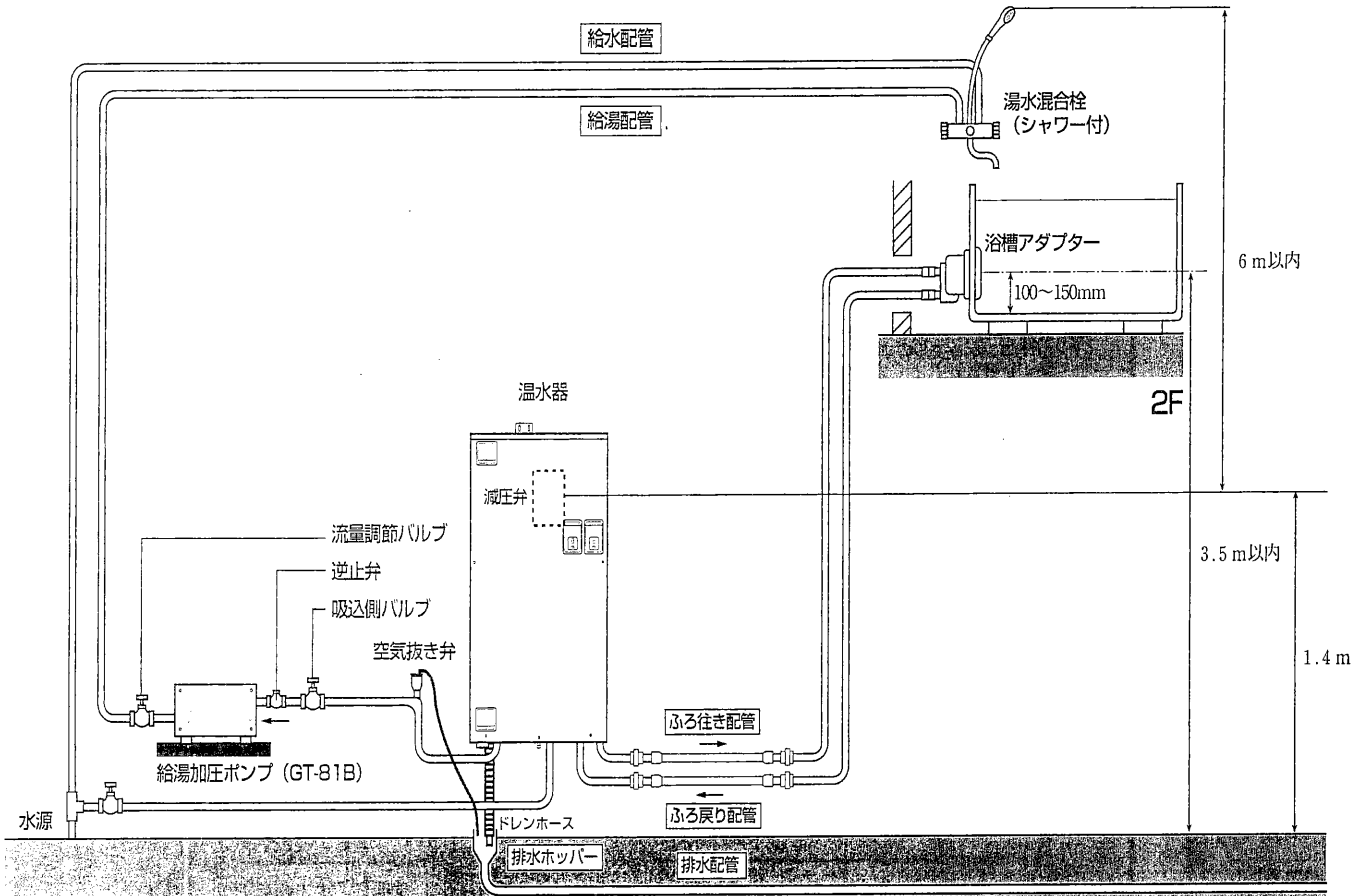
ずれが小さい場合に適しています。

ホースは市販の風呂ホースを使用します。
 外径：φ50mm (内径φ44mm)
 形状：ジャバラ付き (S形、Z形等あり)

2階給湯配管例

- 【お願い】
- ポンプは別売部品（給湯加圧ポンプ GT-81B シャワー給湯用）を使用してください。市販のポンプの場合は、定格出力50W以下、フローズスイッチ式のものを使用してください。（接続および使用方法についての詳細は、使用するポンプの説明書をお読みください。）
 - 空気抜き弁を必ず、取付けてください。ポンプの吸込管側の空気がたまりやすいところに垂直に取付けます。（空気が入るとお湯の出が悪くなります。）
 - 空気抜き弁はゴミがかんだり故障したときにビニルホースから湯が出ます。ビニルホースは必ず排水ホッパー（排水穴）等に導き、外れないように固定してください。

- ポンプの配管には吸込側バルブ、流量調節バルブ、逆止弁を取付けてください。
- 逆止弁は、方向を正しく取付けてください。
- 減圧弁と最も高い給湯栓（シャワー等）までの高さは6m以内にしてください。6mをこえるとポンプを運転させるのに必要な流量が確保できず、お湯ができません。
- 浴槽の設置は、浴槽アダプターの中心が本体の設置面から3.5m以内にしてください。
- ふろ配管には、ポンプや逆止弁を取付けしないでください。

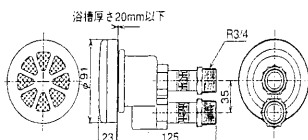


説明のため脚は記載しておりません。

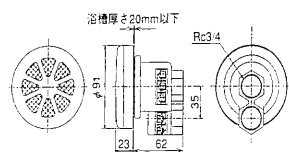
1F

浴槽アダプター（別売部品）

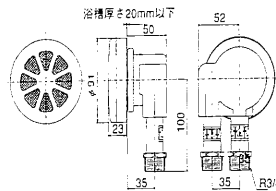
寸法図



GT-76
直管おねじタイプ

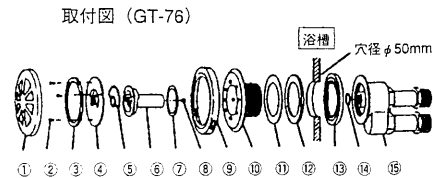


GT-77
薄形おねじタイプ



GT-78
薄形直角おねじタイプ

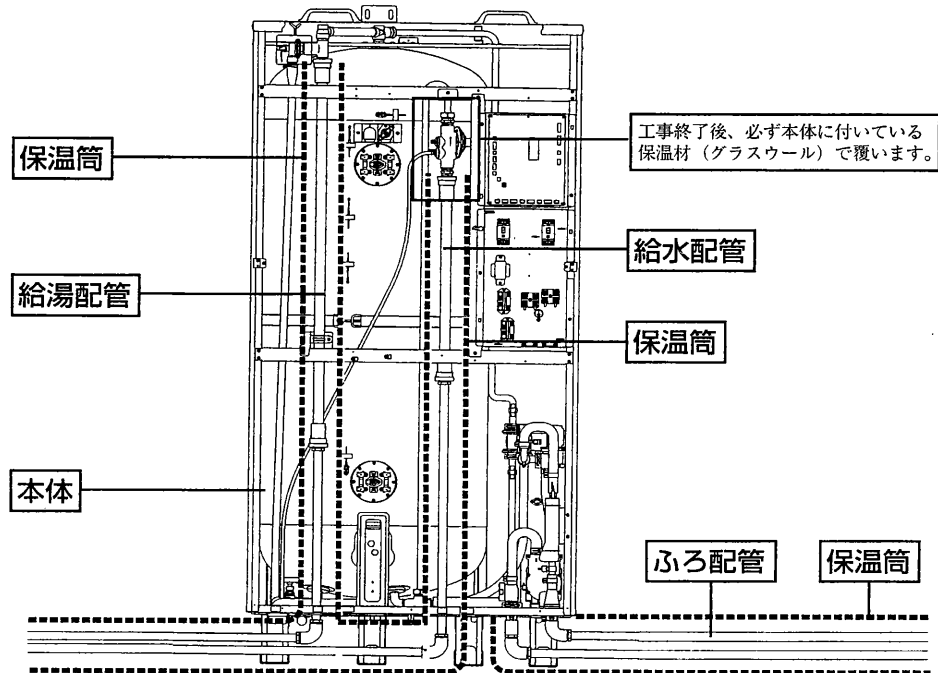
取付図 (GT-76)



No.	部品名	数量	No.	部品名	数量
①	フィルター	1	⑨	カバー栓	1
②	タッピングねじ	3	⑩	浴槽フランジ	1
③	切替板用Uパッキン	1	⑪	すべらし板 (半透明)	1
④	切替板	1	⑫	パッキン (黒)	1
⑤	半円パッキン	1	⑬	かぶせパッキン	1
⑥	切替盤	1	⑭	Oリング	1
⑦	切替筒用Uパッキン	1	⑮	浴槽壁金具	1
⑧	メートルねじ	1			

保温工事

- 配管接続部の水漏れの有無を点検してから工事をしてください。
- 地中配管や屋外など雨露のかかる保温箇所には適切な防水処理をしてください。
- 給湯、給水、ふろ配管は、必ず保温工事を行なってください。



説明では、SRT-3764F-BLを使用しています。

凍結防止工事

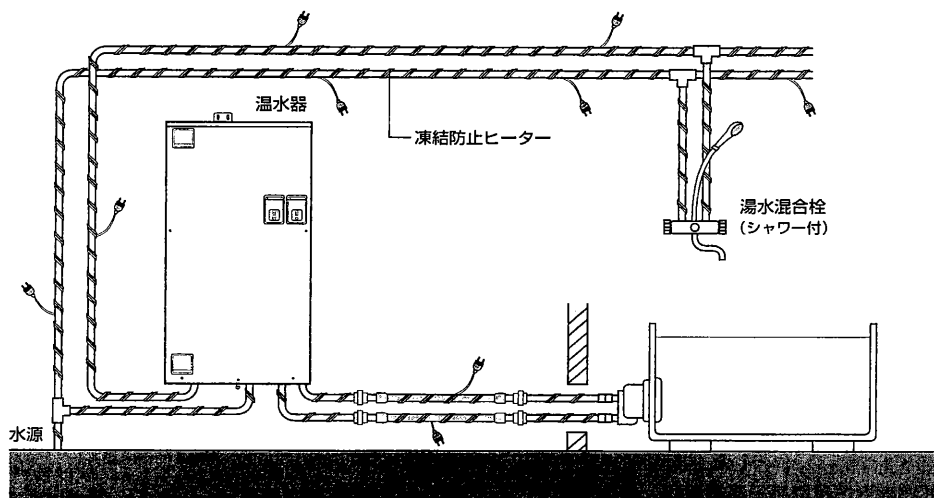
- 保温工事がしてあっても周囲温度が0℃以下になると配管は凍結します。機器や配管が破損する場合がありますので適切な凍結防止対策を施工してください。

【お願い】 凍結防止対策とその操作方法をお客様に十分に説明してください。

【お願い】 配管に水が無い状態では、絶対に、凍結防止ヒーターに通電しないでください。

凍結防止ヒーターによる方法

- ①凍結の恐れがある配管すべてに巻きます。（本体内部の配管については保温材による凍結防止を行なってください。）
- ②凍結防止ヒーターを巻く場合はヒーター同梱の「説明書」により施工します。
- ③凍結防止ヒーターは何本も使用しますので適当な位置にコンセントを設けます。



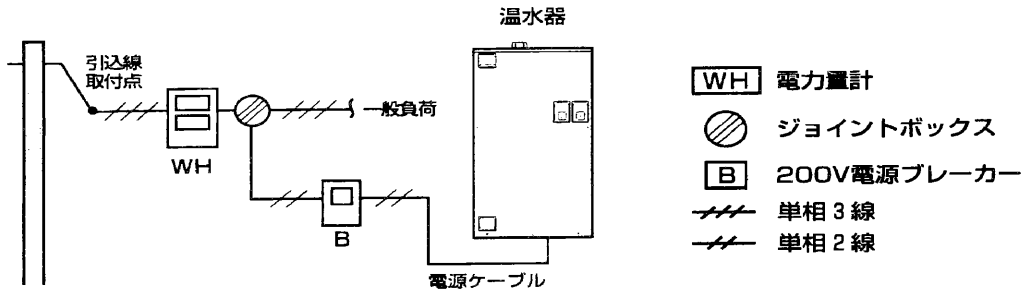
6.電気工事

電気設備基準及び内線規程に基づいて必ず指定工事業者が行なってください。

- 試運転は必ずタンクを満水にしてから行なってください。
- この温水器は、「時間帯別電灯」対応通電制御型です。
深夜電力で使用する場合は、「深夜電力で使用する場合」の工事を行なってください。
- ブレーカー（配線用遮断器）および電線（ケーブル）の太さは内線規程（下表参照）に定められたものを使用してください。

引込配線工事

引込口から温水器までの回路は以下のとおりです。

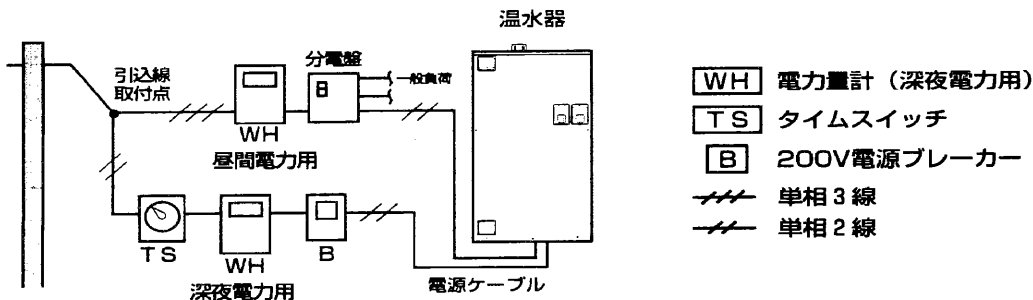


【お願い】 引込線取付点とジョイントボックス間のケーブルの太さは、一般負荷と温水器を見込んだサイズにしてください。

ブレーカーの定格とケーブルの太さ・種類

形名	定格電圧	定格消費電力	ブレーカー定格	ケーブルの太さ	種類
SRT-3764F-BL	単相200V	5.6kW	40A	8mm ² (φ3.2mm)	VV
SRT-4664F-BL	単相200V	6.6kW	50A	14mm ²	VV

深夜電力で使用する場合



ブレーカーの定格とケーブルの太さ・種類

形名	定格電圧	定格消費電力	ブレーカー定格	ケーブルの太さ	種類
SRT-3764F-BL	単相200V (深夜電力)	4.4kW	30A	8mm ² (φ3.2mm)	VV
	単相200V (昼間電力)	1.2kW	15A	φ1.6mm	VV
SRT-4664F-BL	単相200V (深夜電力)	5.4kW	40A	14mm ²	VV
	単相200V (昼間電力)	1.2kW	15A	φ1.6mm	VV

【お願い】 200Vターミナルの圧着端子は「時間帯別電灯」対応通電制御形に対応していますので、ケーブルの太さは、記載されているサイズにしてください。

【お知らせ】 深夜電力で使用する場合は、50L沸き増し、満タン沸き増しはできません。

配線

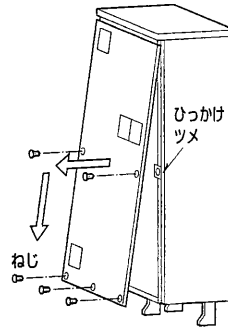
以下の配線工事を行なってください。

- ・200V電源工事
- ・保護アース（接地）工事
- ・メインリモコン工事（6ページ）
- ・浴室リモコン工事（6ページ）

●各配線で使用するケーブルは必要以上にたるませないでください。

●前面カバーは右図を参照して開けてください。

【お願い】 本体と配線のすきまを同梱のパテでシールします。
シール方法は、付属の工事説明書をお読みください。



前面カバーの外し方

前面カバーのねじ（5本）を外したあと、前面カバーを上げながら手前に引いて降ろします。

【お願い】

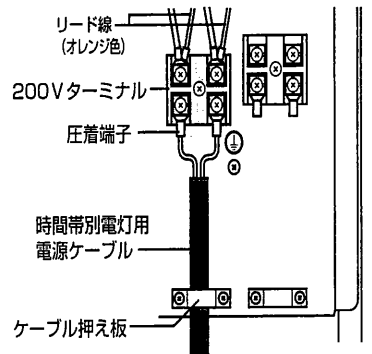
配線が終わったあと、前面カバーは元どおり確実に閉めてください。

200V電源工事

時間帯別電灯で使用する場合

- ①時間帯別電灯用電源ケーブルを電源ケーブル口から通し、200Vターミナルに接続します。
- ②ケーブル押え板で時間帯別電灯用電源ケーブルを固定します。

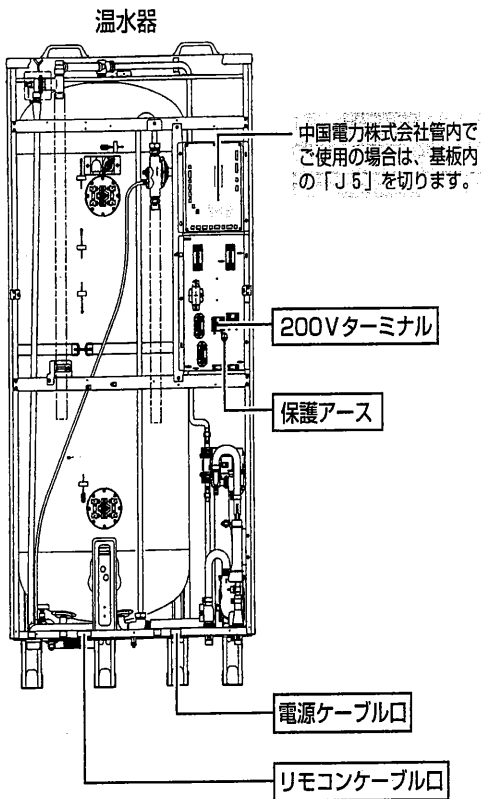
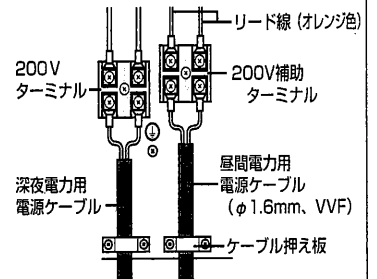
- ・締付トルク3.2N・m（33kgf・cm）以上
- ・線間絶縁距離6mm以上



【お願い】 ターミナルへの接続は付属の圧着端子を使用してください。

深夜電力で使用する場合

●200Vターミナルに接続してあるリード線（オレンジ色）を外し、200V補助ターミナルに接続します。●昼間電力用の電源ケーブルを200V補助ターミナルに接続します。●ケーブル押え板で電源ケーブルを固定します。



保護アース（接地）工事

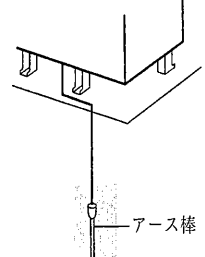
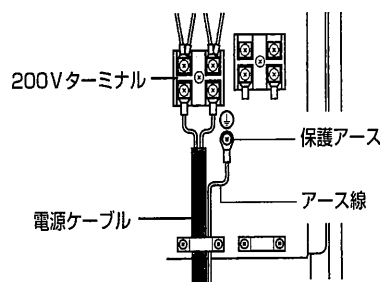
- 万一の感電事故防止のため電気設備技術基準および内線規程に基づき、必ず電気工事士による第3種接地工事（接地低抗値100Ω以下）を行なってください。
- 水道管、ガス管への接地、および他器具用アースとの共用はできません。
- 避雷針の接地と2m以上離してください。

- ①アース棒（純正別売部品）と市販のアース線（IV電線3.5mm² 緑色）を半田付けまたは接続端子で接続します。
- ②アース線電源ケーブル口から通し、200Vターミナル右下の保護アース（⊕マーク）に接続します。
- ③アース棒を湿気のあるところでは地中30cm以上の深さに打ち込みます。

警告

必ずアース工事をする

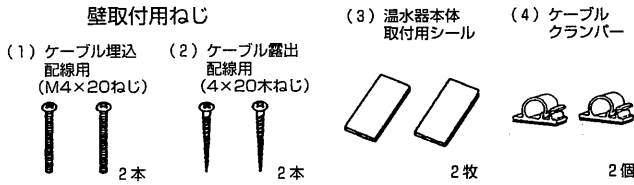
工事に不備があると、故障や漏電のとき感電することがあります。



メインリモコン工事

●リモコンケーブルは三菱純正別売部品をご使用ください。

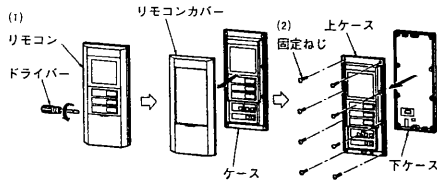
メインリモコン付属品



1. メインリモコンを壁に取付けて使用する

ケーブル露出配線のとき

- (1) マイナスドライバーでリモコンカバーをケースからはずす。
- (2) 固定ねじ (8本) をはずす。
- (3) 下ケースをケーブル露出配線用木ねじ (付属品 2本) で壁に取付ける。
- (4) 下ケースの「ケーブル口」をニッパー等で切欠く。
- (5) 上ケースのクランパーをはずす。
- (6) 上ケースのリモコン基板コネクタにケーブルコネクタを差し込み、リモコンケーブルをクランパーで固定する。
- (7) 上ケースを下ケースにはめ、固定ねじ (8本) で固定する。
- (8) リモコンカバーをケースにはめる。
- (9) ケーブルを壁面に固定し、温水器まで配線する。

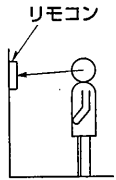


取付け場所の選定

(1) メインリモコンは必ず屋内に取付けてください。

【お願い】メインリモコンは防水タイプではありません。下記場所には取付けないでください。

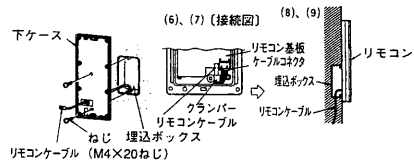
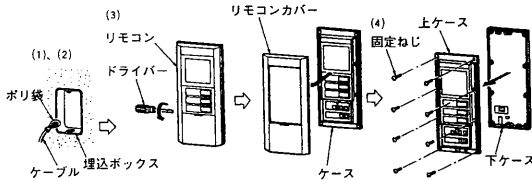
- ・浴室など湿気の多いところ
- ・ガステーブルなどの高温 (50℃以上) になるところ
- ・直射日光のあたるところ
- ・蒸気や水しぶきのかかるところ



- (2) リモコンケーブルの長さが15m以内になる場所に取付けてください。
- (3) メインリモコンはスイッチ操作が容易にでき、表示が良く見えるところ (目の位置より少し下側のところ) に取付けてください。

ケーブル埋込配線のとき

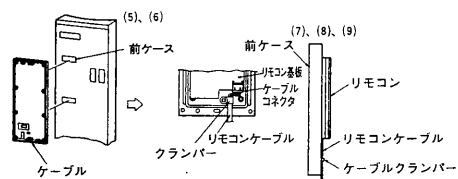
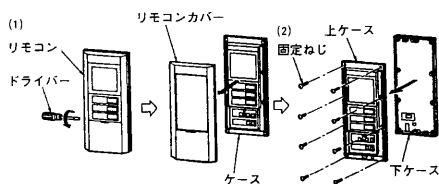
- (1) リモコンを取付ける場所に埋込ボックス (JIS 1 個用スイッチボックス) を固定する。
- (2) リモコンケーブルを電線管を通し、温水器まで配線する。
 (リモコンケーブルを配線するときは、コネクタを保護しているポリ袋をつけたままでコネクタに張力が加からないように行います。)
- (3) マイナスドライバーを使ってリモコンカバーをケースから外す。
- (4) 固定ねじ (8本) をはずす。
- (5) 埋込ボックスから出ているリモコンケーブルを下ケースの穴に通し、下ケースをケーブル埋込配線用Mねじ (付属品 2本) で埋込ボックスに取付ける。
- (6) 上ケースのクランパーをはずす。
- (7) 上ケースのリモコン基板コネクタにケーブルコネクタを差し込み、リモコンケーブルをクランパーで固定する。
- (8) ケーブルを埋込ボックスに押込むようにして、上ケースを下ケースにはめ、固定ねじ (8本) で固定する。
- (9) リモコンカバーをケースにはめる。



2. メインリモコンを温水器に取付けて使用する 温水器を屋内に設置した場合のみ取付けられます。

【お願い】温水器が直射日光や雨が掛かるところに設置してある場合は取付けないでください。

- (1) マイナスドライバーを使ってリモコンカバーをケースからはずす。
- (2) 固定ねじ (8本) をはずす。
- (3) 下ケースにシール (付属品 2枚) を貼って、温水器の前面カバーに取付ける。
- (4) 下ケースの「ケーブル口」をニッパー等で切欠く。
- (5) 上ケースのクランパーを外す。
- (6) 上ケースのリモコン基板コネクタにケーブルコネクタを差し込み、リモコンケーブルをクランパーで固定する。
- (7) 上ケースを下ケースにはめ、固定ねじ (8本) で固定する。
- (8) リモコンカバーをケースにはめる。
- (9) ケーブルをケーブルクランパー (付属品) で固定する。(2箇所)



浴室リモコン工事

●リモコンケーブルは三菱純正別売部品をご使用ください。

浴室リモコン付属品 (一覧表)

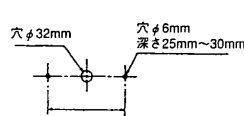
部品名	数量	部品名	数量
(1) 取付パイプ (太)	1	(5) パッキン (シール付)	1
(2) 取付パイプ (細)	1	(6) オールプラグ	4
(3) 屋外ケース	1	(7) 木ねじ	4
(4) 屋外ケース取付金具	1	(8) ゴムブッシュ	1

取付け場所の選定

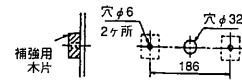
- ・防水タイプですが湯や水のできるだけかかりにくい場所に取付けてください。
- ・リモコンケーブルの長さが15m以内になる場所に取付けてください。
- ・リモコンはスイッチ操作が容易にでき、表示が良く見えるところ (目の位置より少し下側のところ) に取付けてください。
- ・屋外ケースの位置が湿気の少ないところになるように穴をあけてください。

- (1) リモコンカバーを外す。
- (2) 屋外ケース取付金具にパッキン (シール付) を貼る。
- (3) リモコンを取付ける場所を取付用の水平な貫通穴 (φ32mm~φ35mm) と、オールプラグ用の穴 (φ6 深さ約20mm、2箇所) をあけ、オールプラグを打ち込む。
- (4) 取付パイプ (太)、(細) を壁の厚さに合わせてカットし、貫通取付パイプ (太) にシールテープを巻いておく。(シールテープは、1回巻きで行なってください。)
- (4) 取付パイプ (太) を貫通穴に通す。
- (6) リモコンケーブルを取付パイプ (細)、屋外ケース取付金具に通し、取付パイプ (太) から壁の反対側に送る。
- (7) リモコンケーブルのコネクターをリモコン背面のコネクターに差込む。
- (8) ゴムブッシュを (付属品) をリモコンにはめ込む。
- (9) 取付パイプ (太) をリモコン背面にねじ込む。
- (10) 取付パイプ (太) を貫通穴に差込んで傾きのないように木ねじ (付属品) 2本でリモコンを壁に固定する。
- (11) 取付パイプ (細) を取付パイプ (太) にねじ込み、屋外ケース取付金具を固定し、木ねじ (付属品) 2本で壁に固定する。
- (12) 屋外ケース取付金具に屋外ケースを取付ける。

コンクリート、タイルなどの壁に取付ける場合

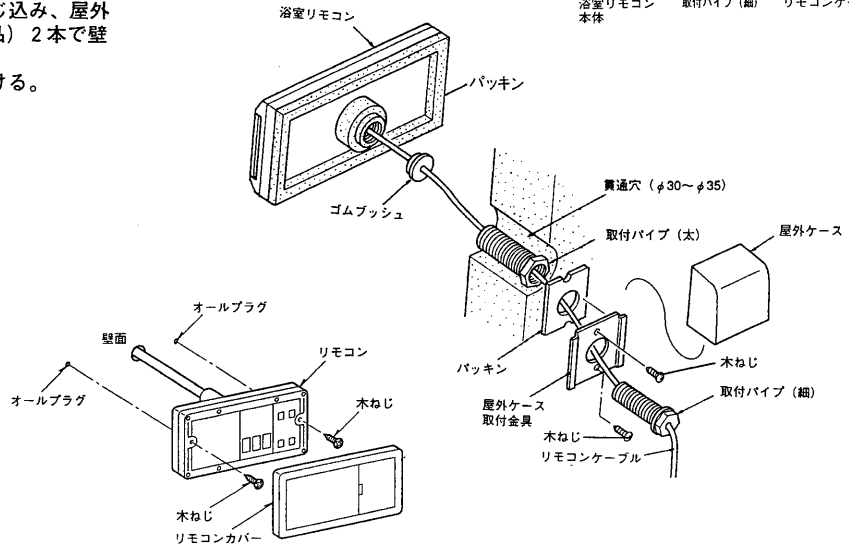
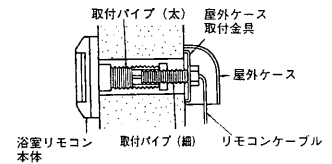


ユニットバスに取付ける場合



- ・補強用の木片を接着剤などで壁裏面に付けます。(木片にも木ねじ用下穴をあけます。)
- ・木片は現地で用意してください。

取付断面図



リモコンケーブルと温水器の接続

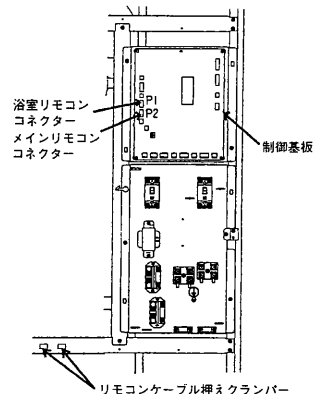
- ①リモコンケーブル口からリモコンケーブルを通し、制御基板左下のコネクターにします。

浴室リモコン... P1 コネクター
メインリモコン... P2 コネクター

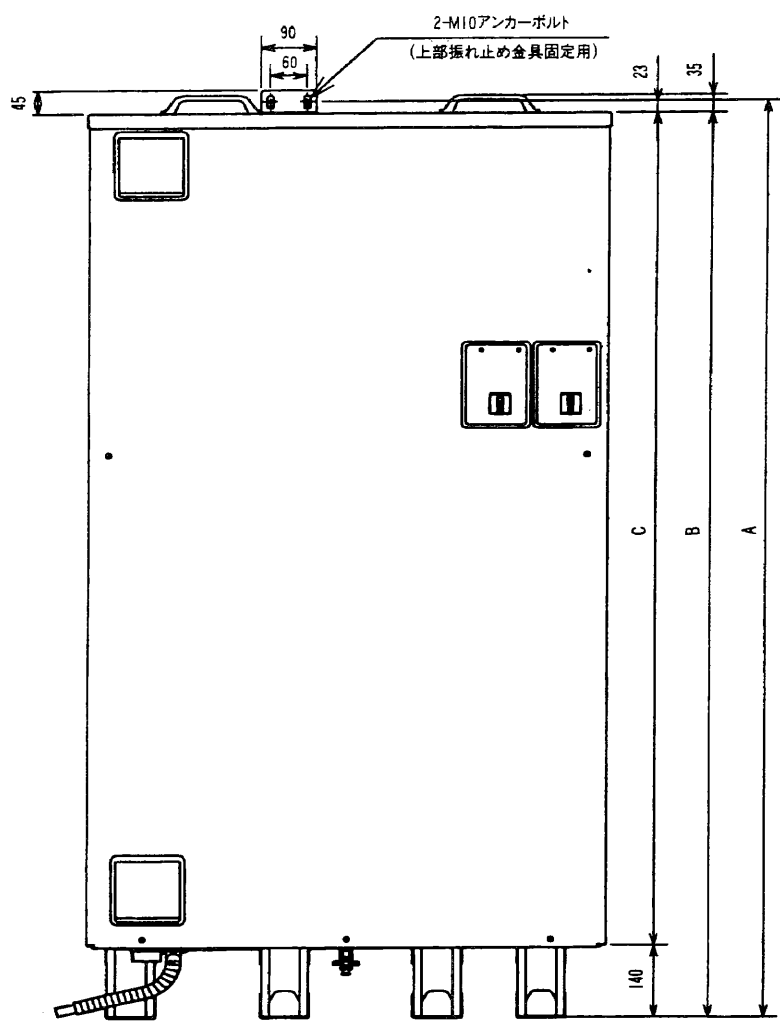
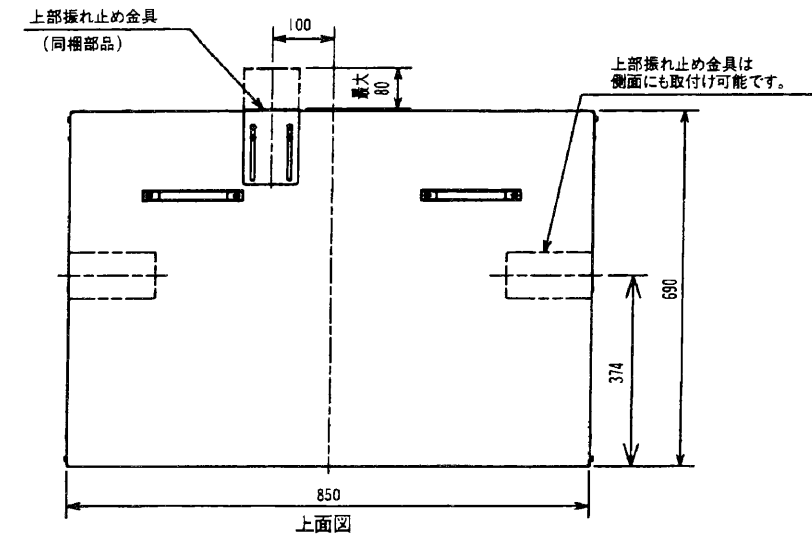
- ②ケーブル押え板でリモコンケーブルを固定します。

【お願い】

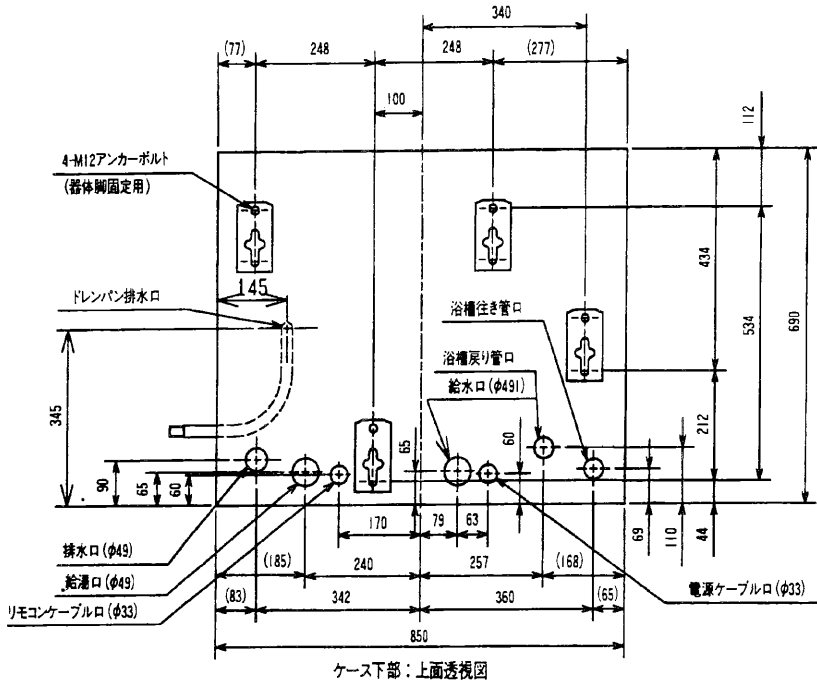
- ・リモコンケーブル同士の中継は誤動作の原因になりますので行わないでください。
- ・リモコンケーブルのコネクターの抜き差しはリモコンケーブル部に張力がかからないように行なってください。
- ・リモコンケーブルは電源ケーブルと離して (約5cm以上) 配線してください。近いとノイズによる誤動作の原因になります。
- ・リモコンケーブルを温水器の制御基板上のコネクターに接続するときは200V電源ブレーカーの電源レバーを「切」にしてから接続してください。



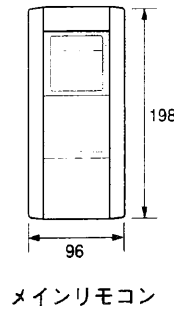
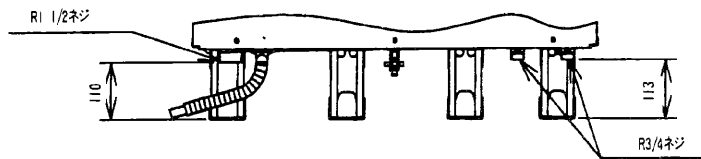
7.外形寸法図



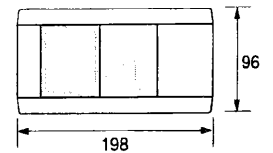
形名		SRT-3764F-BL	SRT-4664F-BL
タンク容量 (L)		370	460
定格消費電力 (kW)		5.6	6.6
質量 (kg)	本体	82	94
	満水時	452	554
寸法 (mm)	A	1773	2113
	B	1750	2090
	C	1610	1950



ケース下部：上面透视图

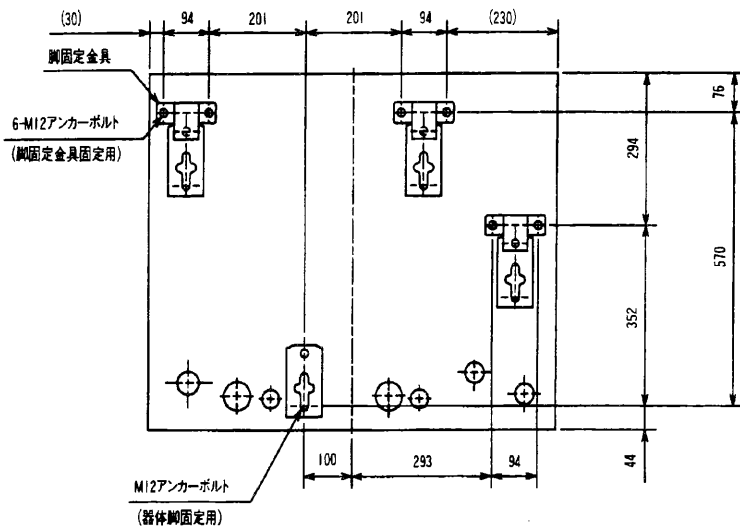
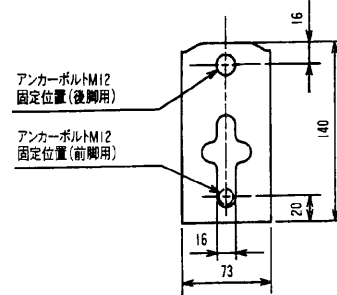


メインリモコン

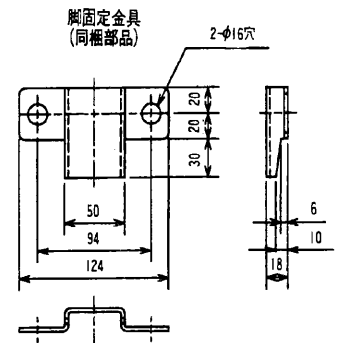


浴室リモコン

器体脚詳細図



脚固定金具使用時：上面透视图



8. 据付・工事後の確認

据付工事後は、必ずお客さま立ち合いのもとで下表にあげたチェック項目を確認してください。
不具合があった場合は、必ず直してください。（機能が発揮できないばかりか安全性が確保できません。）

	チェック項目	ページ	判定
据付け状態	①脚がアンカーボルトで固定されていますか。（4カ所）	2	
	②満水時の重量（460Lで約554kg、370Lで約452kg）に十分耐えますか。	2	
	③メンテナンススペースが確保されていますか。 （本体は出し入れできますか。修理・点検はしやすいですか。）	2	
	④火気・引火物は近くにありませんか。	2	
	⑤排水・防水処理はしてありますか。	2	
	⑥上部を固定しましたか。（2階以上に据付けた場合）	2	
配管工事	①温水器専用止水栓は適切な位置についていますか。	3	
	②排水ホッパーはついてますか。	3	
	③排水口は排水ホッパーの中心に合っていますか。	3	
	④排水口と排水ホッパーの間隔は50mm以上あいていますか。	3	
	⑤給湯配管材は耐食性、耐熱性に問題ない材質ですか。	3	
	⑥給湯配管に絶縁を考慮した配管材（L=1000mm以上）が入っていますか。	3	
	⑦給水配管に絶縁を考慮した配管材（L=500mm以上）が入っていますか。	3	
	⑧ふろ配管に絶縁を考慮した配管材（L=500mm以上）が入っていますか。	3	
	⑨埋込部に塩ビ管を使用していませんか。	3	
	⑩排水管材は85℃の温度に十分耐える材料になっていますか。	3	
	⑪絶縁パイプと金属管との接続部はインサートねじのものになっていますか。	3	
	⑫ドレンホースを排水ホッパーに導いてありますか。	3	
	⑬保温工事は適切ですか。	4	
	⑭凍結防止工事は適切ですか。	4	
電気工事	①ケーブルの太さは十分ですか。	5	
	②ブレーカーはついてますか。	5	
	③ブレーカーの定格は十分ですか。	5	
	④線間電圧は単相200Vですか。	5	
	⑤200Vターミナルの締付けは十分ですか。	5	
	⑥接地（アース工事）は確実ですか。	5	
	⑦ケーブル押え板は使っていますか。	5	
水漏れ確認	①湯水混合栓からの流量は十分ですか。	-	
	②配管各部からの水漏れはないですか。	-	
	③逃し弁のレバーを立てて排水栓を開いたとき、排水があふれ出ることはないですか。	-	

9. 試運転

試運転はお客さま立ち合いで行なってください。

⚠ 注意

通電はタンクを満水にしてから行なってください。
満水にならないうちに通電するとヒーターが過熱して故障の原因になります。

【お願い】 深夜電力通電制御型で契約している場合は、電力会社の了解を得て、タイムスイッチを通電状態にしてから試運転を行なってください。

【お願い】 リモコンの操作は取扱説明書をご覧ください。

1. タンクを満水にする

湯水混合栓の湯温調節つまみを「高」側にして給湯レバーを開き、水が出ることを確認してください。

2. 200V電源ブレーカーを「入」にする

3. 浴槽保温発熱体用漏電遮断器（右側）の電源レバーを「入」にする

リモコンに「H O」が表示された場合は、メインリモコンと浴室リモコンの接続が逆になっています。コネクターを差し替えてください。

4. 浴槽保温発熱体用漏電遮断器（右側）の動作を確認する

浴槽保温発熱体用漏電遮断器のテストボタンを押してください。「入」になっていた電源レバーが「切」になれば正常です。点検が終わったら電源レバーを「入」に戻してください。

5. タンク発熱体用漏電遮断器（左側）の電源レバーを「入」にする

6. タンク発熱体用漏電遮断器（左側）の動作を確認する

タンク発熱体用漏電遮断器のテストボタンを押してください。「入」になっていた電源レバーが「切」になれば正常です。点検が終わったら電源レバーを「入」に戻してください。

ヒーターへの通電を確認します。（電力量計が回転し、メインリモコンに「ヒーター沸き上げ中」が表示されます。）

7. メインリモコンで時刻設定を行う

8. メインリモコンで温水器の湯温設定を行う

9. 湯張り動作を確認する

浴槽の排水栓を閉じてから、浴室リモコンの湯温設定「低」スイッチを押しながら「ふろ自動運転」スイッチを押します。しばらくすると、給湯と循環ポンプ動作を繰り返しながら湯張りを行います。

●浴槽の排水栓を閉じずに湯張りを行うと「U 3」が表示されます。「U 3」表示は、ふろ自動運転スイッチを押すと解除されます。

●「ふろ自動運転」スイッチだけを押し湯張りを行うと「U 4」が表示されます。「U 4」表示は、ふろ自動運転スイッチを押すと解除されます。

●湯張り中に排水口から少量、排水されますが異常ではありません。

10. 湯張り終了後、配管及び各配管の接続部から水漏れが無い確認する

11. メイン、浴室リモコンが取扱説明書の通りに操作できるかどうか確認する

【お願い】 深夜電力通電制御型で契約している場合は、試運転終了後、タイムスイッチの時間を現在時刻に戻してください。

【お願い】 試運転後に、本体基板リセットスイッチを押さないでください。万一、押ししてしまった場合は、リモコンのリセットを行なってください。

リモコンのリセット方法：リモコンケーブルのコネクタを外し、約10秒後に接続する。

10. お客さまへの説明

○取扱説明書に基づいて、正しい使い方をお客さまにご説明ください。

とくに「安全のために必ずお守りください」の項は、安全に関する重大な注意事項を記載していますので、必ず守るようご説明ください。

○日常の点検、お手入れ方法などは、現品で具体的に説明してください。

○寒冷地での凍結防止対策とその操作方法は具体的に説明してください。

○長期間お使いいただくためには、定期点検が必要なことをお客さまにご説明のうえ、点検の相談や使用上の質問などに適切に対応してください。

○保証書に所定事項をご記入のうえ、取扱説明書とともにお客さまにお渡しください。